

「R I 検査について...」

- ・微量の放射線を出す薬(放射性医薬品)を注射して、その体内部分布状態や時間的変化から病気を診断する検査です。
- ・放射線の量(被曝量)は検査の種類によって異なりますが、およそ胸のレントゲン写真程度から、CT検査1回程度です。
- ・いずれの注射薬も副作用の報告が極めて少ない安全な薬剤です。皮膚や嘔吐、発熱、ショック等の報告がありますがあまりに少ないため、正確な頻度は計算できず、0.1%未満といわれています。
- ・ほとんどの検査で着替えて頂く必要はありませんが、ベルトやアクセサリー、ポケットの小銭などの金属類は外していただきます。

